

ワークショップ全体の流れ

	時間	内容	場所
第1回 ワークショップ	8月6日（日） 14：00－16：00	全体オリエンテーション 篠ノ井の公共施設を知ろう	篠ノ井公民館 第一学習室
第2回 ワークショップ	8月27日（日） 14：00－16：00	グループ検討 公共施設等に求められる機能、 サービスについて	篠ノ井公民館 第一学習室
第3回 ワークショップ	9月10日（日） 14：00－16：00	グループ検討 南部図書館と篠ノ井駅周辺の 公共施設再配置の将来像につ いて	篠ノ井公民館 音楽室
第4回 ワークショップ	9月23日（土） 14：00－16：00	グループ提案まとめ 成果の発表	篠ノ井公民館 音楽室

今日のスケジュール

時間	内容	詳細
14:00-14:10	オリエンテーション	第3回ワークショップの振り返り。 第4回ワークショップの進め方。
14:10-15:00	グループ検討	将来の篠ノ井地区の公共施設再配置の あり方、アイデア等を模造紙上にまと める。
15:00-15:10		休憩
15:10-15:30	グループ別発表	発表時間は各グループ4分程度。
15:30-15:35	堤准教授からの講評	堤先生によるまとめ
15:35-15:40	住民自治協議会からの挨拶	平林会長より
15:40-16:50	主催者挨拶と講評	樋口副市長より
15:50-16:00	記念撮影・アンケート記入	

Aグループ

できること したいこと

篠ノ井体育館

茶臼山
市民プール

茶臼山屋内運動場

篠ノ井西小学校

篠ノ井西中学校

篠ノ井公民館
川柳分館

篠ノ井愛の樹園
ふたば園

西部保育園

篠ノ井中央人権
同和教育集会所

こども広場

遊び場、外
での遊び

利用が大変多
いので支援セ
ンターの分室
をつくる

南部図書館に
こども広場の機
能を統合する

統合・再建

篠ノ井公民館
中央分館

南部勤労青少年H

南部働く女性の家

遊休地
(篠ノ井駅西口)

- 自主運営
- 住民参加の交流
- 体験型図書館
- 世代間交流
- 移動図書館の継続
- 視聴覚室など音楽が聴けるスペースの確保
- 大人とこどものスペースの分離

南部図書館

- 開館時間の延長(9:30~19:00くらい)
- 喫茶スペース
- 読むだけでなく、朗読会等にも使う
- 展示コーナー
- 障がい者、子どもに優しい施設
- 子育て世代と経験豊かな世代との交流
- マットやソファでくつろげる空間
- 中高生が静かに勉強できる場所
- 館長公募
- 「聞く」「見る」「話す」「創る」図書館
- 本の溜り場

0~18歳まで
誰でも使える施設

0~18歳まで
誰でも使える施設

中学校の空き
教室に統合す
ると同和教育
がしやすくなる

その他の施設

- 市営住宅(4施設)
- 教員・校長住宅(4施設)
- 篠ノ井消防署・詰所2

通明小学校

犀南保健C

篠ノ井老人福祉C

再配置のかたち

- こども広場を図書館と複合化させる。○同和教育集会所は西中学校に統合する。
- 空き店舗を利用しまちなか図書館をつくる。
- 青少年ホーム、働く女性の家、老人福祉センターは統合する。

効 果

- コストカット。
- 人が集まりやすい。
- 交流の場ができる。
- まちなか図書館など利用による空き店舗活用や地域活性化が可能。

課 題

- 集約化にあたって、ぐるりん号のダイヤ改正や土日の運行を考えてほしい。
- 東西通路の利用が難しい。風が強いので建物建設の方法ならば可能だが費用対効果を勘案するとやはり難しい。
- 東西通路利用はウナギの寝床みたいで使いづらいのでは。
- 施設は、子供用トイレや障がい者にも使いやすいようにする必要がある。

その他の意見

- 空き店舗を「まちなか図書館」などとして活用すれば地域活性化が可能になる。
- 図書館の周りに子供たちや子育て世代が集まれるような工夫をすることで、子供たちに本を読む力をつけてもらいたい。
- 児童館や児童センターは子供だけでなく大人も利用するような工夫をし、多世代の交流ができるといい
- 南部図書館は、理念の見直し、館長公募など、住民が参加できるような図書館としてシステムを構築したい。
- このワークショップをきっかけとして、今後も継続して市民意見を聞きながら図書館の整備等をすすめるべき。

再配置のかたち

- 図書館にとらわれない図書館を目指す。
- 駅連絡通路は図書館と一体にする。
- こども広場、子供の園保育園は図書館と一緒にする。
- 勤労青少年ホーム、女性の家の機能は図書館に組み込む。施設は売却する。

効 果

- 図書館を町づくりの核として、地域の活性化が図れる。
- 核となる図書館は、図書館という概念にとらわれない図書館とすることで、老若男女が集まれる場所となる。（例：塩尻市えんぱーくのイメージ）
- 図書館が文化の中心となる。
- 篠ノ井地区以外の人でも利用ができる。

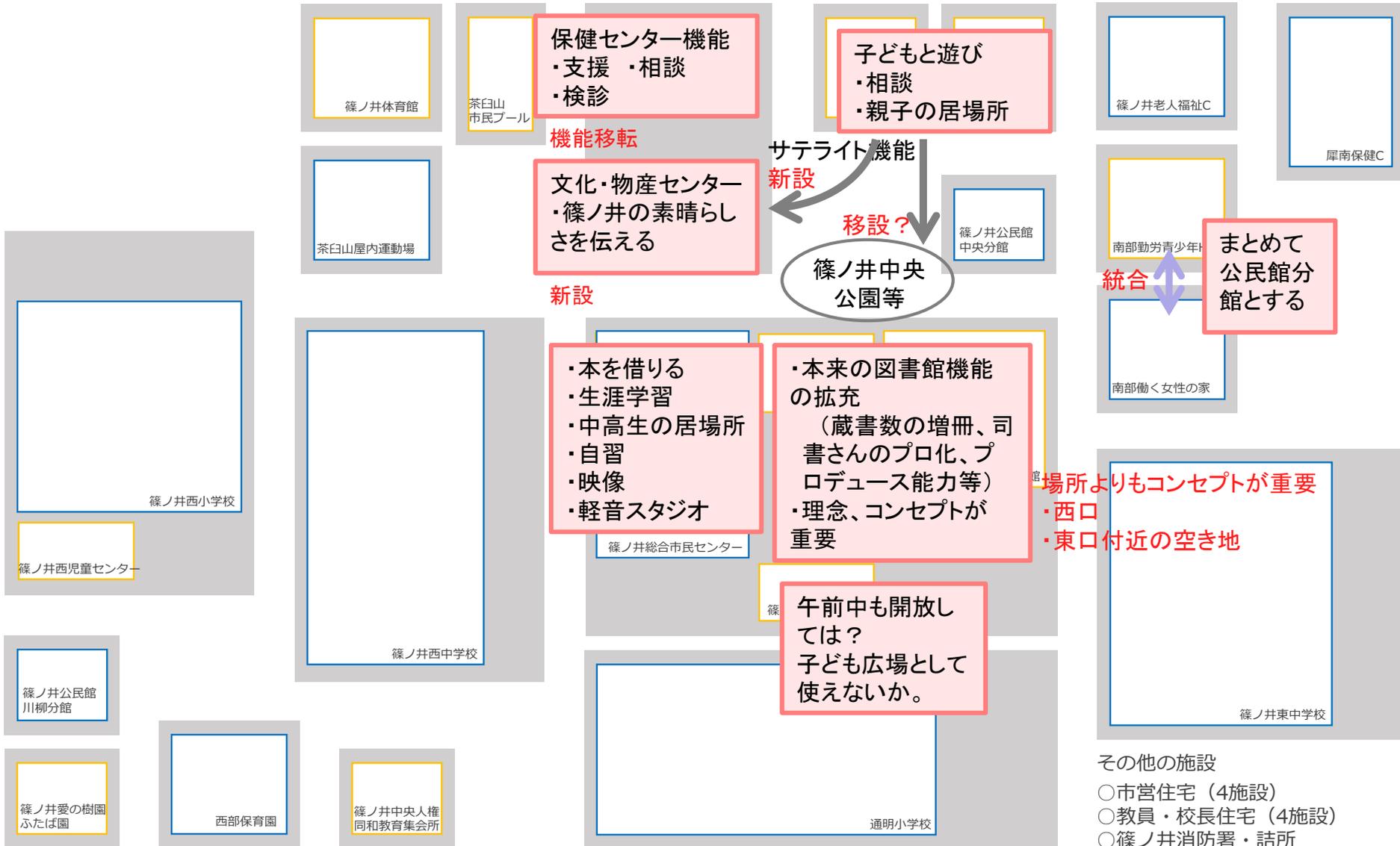
課 題

- 篠ノ井駅東西連絡通路拡張や活用にはJRの協力が必要。
- 東口の駐車場が必要。
- 商店会の協力が必要。
- 西口までの交通網（ぐるりん号の運行）が必要。
- 篠ノ井の歴史や文化を伝える方策がない。

その他の意見

- 図書館に施設を集約することで、町の活性化を図ることが出来る。
- 核となる図書館が必要だが、図書館という概念にとらわれてはいけない。
- 駐車場やぐるりん号といった交通も大切。
- 篠ノ井駅東西連絡通路を活用する。

Cグループ



篠ノ井体育館

茶臼山市民プール

保健センター機能
・支援 ・相談
・検診

子どもと遊び
・相談
・親子の居場所

篠ノ井老人福祉C

犀南保健C

茶臼山屋内運動場

文化・物産センター
・篠ノ井の素晴らしさを伝える

サテライト機能 新設

移設?

篠ノ井公民館中央分館

南部勤労青少年センター

まとめ
公民館分館とする

新設

篠ノ井中央公園等

統合

南部働く女性の家

篠ノ井西小学校

篠ノ井西児童センター

・本を借りる
・生涯学習
・中高生の居場所
・自習
・映像
・軽音スタジオ

・本来の図書館機能の拡充
(蔵書数の増冊、司書さんのプロ化、プロデュース能力等)
・理念、コンセプトが重要

場所よりもコンセプトが重要

- 西口
- 東口付近の空き地

篠ノ井総合市民センター

篠ノ井公民館川柳分館

篠ノ井愛の樹園ふたば園

西部保育園

篠ノ井中央人権同和教育集会所

午前中も開放しては？
子ども広場として使えないか。

その他の施設

- 市営住宅 (4施設)
- 教員・校長住宅 (4施設)
- 篠ノ井消防署・詰所

篠ノ井西中学校

篠ノ井東中学校

通明小学校

再配置のかたち

- 保健センターの機能は篠ノ井駅西口にもってくる。
- こども広場は、篠ノ井中央公園の中に作る。あるいはサテライトを作り2か所にする。
- 勤労青少年ホームと働く女性の家は統合して、総合市民センターの図書館分室的な機能にする。
- 図書館は今よりも機能を充実させて大きくする。
- 駅東西をつなぐ自由通路はより拡張する。

効果

- 第4回で検討

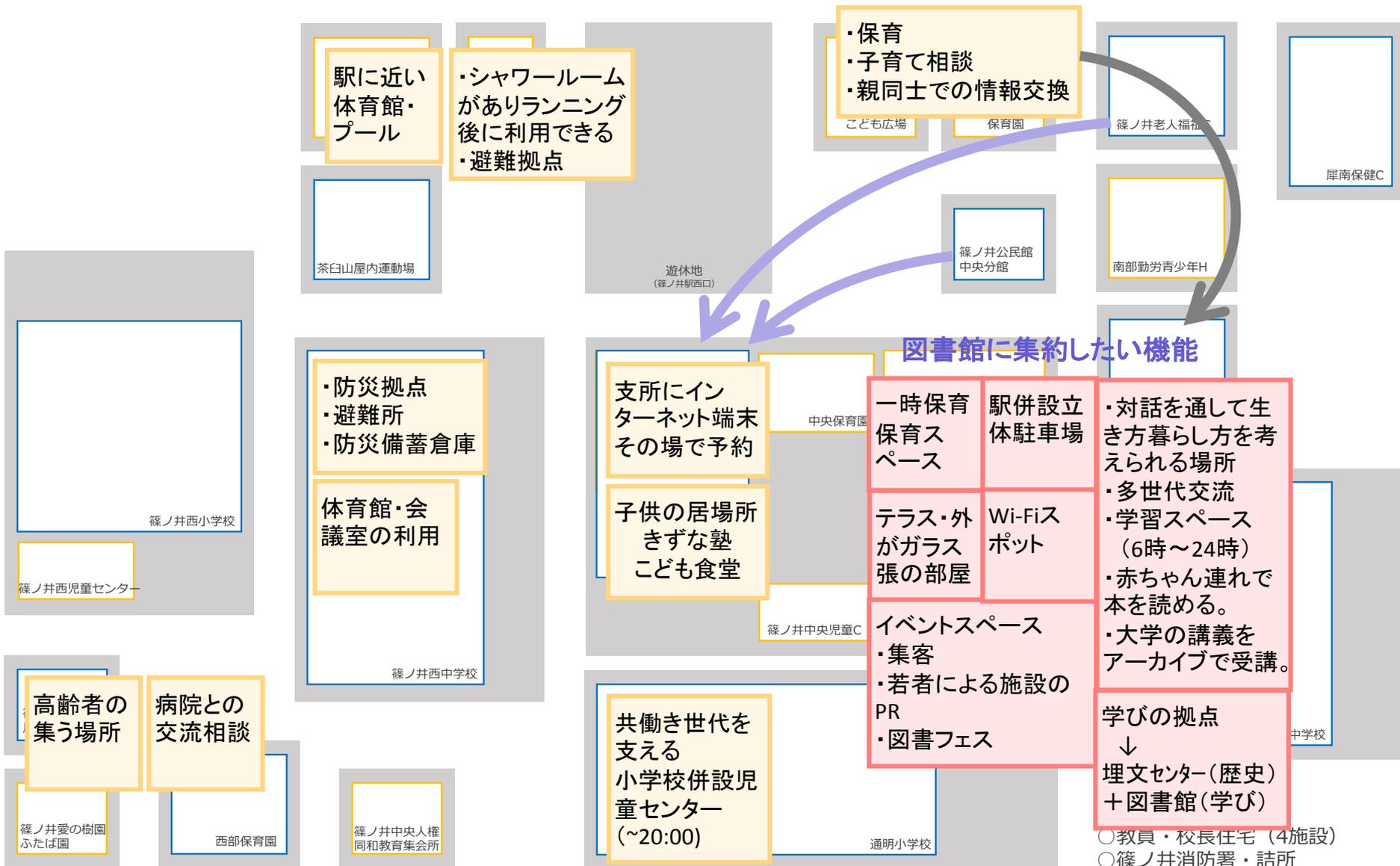
課題

- 第4回で検討

その他の意見

- 集約や減築を目的にしてしまうと本来のアイデアが流れてしまうので、現実的な部分と自由な発想の部分は分けて考えたい。
- 図書館本来のサービスが受けられる施設にしたい。図書のプロとコミュニケーション、プロデュース能力のある司書。
- 子ども広場は既に満杯なので、さらに図書館の機能も入れたくない。そのため、場所は動かさない方がよい。
- 保健センターと図書館は相乗効果がないかもしれない。
- 図書館に会議室と多目的スペースが多くあるとよい。
- 文化のあるところに人は集まる。篠ノ井の歴史が分かる場所。文化・物産センターが駅前にあるとよい。

Dグループ



駅に近い
体育館・
プール

・シャワールーム
がありランニング
後に利用できる
・避難拠点

・保育
・子育て相談
・親同士での情報交換

茶臼山屋内運動場

遊休地
(篠ノ井駅西口)

篠ノ井公民館
中央分館

南部勤労青少年H

犀南保健C

・防災拠点
・避難所
・防災備蓄倉庫

体育館・会
議室の利用

支所にイン
ターネット端末
その場で予約

子供の居場所
きずな塾
こども食堂

一時保育
保育ス
ペース

駅併設
立体駐車場

・対話を通して生き方暮らし方を考えられる場所
・多世代交流
・学習スペース (6時~24時)
・赤ちゃん連れで本を読める。
・大学の講義をアーカイブで受講。

テラス・外
がガラス
張りの部屋

Wi-Fi
スポット

イベントスペース
・集客
・若者による施設のPR
・図書フェス

学びの拠点
↓
埋文センター(歴史)
+ 図書館(学び)

篠ノ井西小学校

篠ノ井西児童センター

篠ノ井西中学校

中央保育区

篠ノ井中央児童C

高齢者の
集う場所

病院との
交流相談

篠ノ井愛の樹園
ふたば園

西部保育園

篠ノ井中央人権
同和教育集会所

共働き世代を
支える
小学校併設児
童センター
(~20:00)

通明小学校

中学校

再配置のかたち

- こども広場の機能を南部図書館に統合する。
- 図書館を中心に駅前の活性化を図りたいが、図書館を駅前のどこに整備するかは未定。

効果（将来の篠ノ井のあり方）

- 100年後にも人口増。
「住みやすい」→「住んでみたい」街、篠ノ井。
- 駅～南長野運動公園間で、教育・医療・福祉などの用が
足りるコンパクトシティ。
- 赤ちゃんからお年寄りまで、学べるまち。

課題

- 法律の規制がある。

その他の意見

- 篠ノ井体育館はランニング後にも使用できるようにシャワールームがついているといい。
そうすると避難拠点としても使える。
- 学校は防災拠点としての機能と、通常時は会議室として利用できるといい。
- 図書館の開館時間中は保育を受けられるようにしたい。
- 市民センターで制約なくイベント等ができるとよいが、現状では制約があるので市民センターで不足する機能を、図書館で補えるようにしたい。
- 埋蔵文化財センターは県の施設であるが、「学びの拠点」という観点から連携して考えたい。

Eグループ

学校の体育館へ

社会体育
サークル
会社の活動

泳ぐ
遊べる
プール

駐車場充実
屋外施設
体育館

子供の園
保育園

篠ノ井老人福祉C

乳幼児な
どの健診

犀南保健C

・未満児憩いの場
・高校・中学からのボラン
ティアを受け付けている
・商会との連携
(無料)

会議室

教育
部活の試合
剣道・柔道

地域のイベント
ステージ有
照明設備有
客席多一少

南部図書館機能

教室:
会議

図書館:
売店/カフェ
視聴覚室
DVD・CD・テレビ

住民票
戸籍手続き
行政手続き

中央保育園

○1階:図書スペース
2階:学習室、会議室
※飲食スペース有
○子どもが座るスペースがある
○移動図書(車で回る)

教室:
講座

音楽室:
コーラス・合唱
吹奏楽・会議(吸音)

コーラス
会議
講座

放課後
預かり

教室:
レクリエーション

体育館
(内)フットサル
ドッジボール・ヨガ
バレエ・ダンス
(外)キャッチボール
アスレチック・公園
外で遊ばせる

福祉バザー会場
選挙の投票所

グラウンド
体育館
スポーツ

篠ノ井中央児童C

篠ノ井東中学校

家庭科室:
女性向けの
教室開く

プール:
運動
高齢者のエ
クササイズ

篠ノ井愛の樹園
ふたば園

通明小学校

その他の施設

- 市
 - 教員
 - 篠ノ井消防署・詰所
- できること したいこと

再配置のかたち

- 図書館に入っている機能を小中学校に分配する
- 南部図書館の跡地に篠ノ井こども広場、中央保育園を作る。
- 児童センターは小学校に統合する。

効果

- 徒歩で歩ける範囲でいろんなことができる。
- 移動図書館のシステムをしっかり作ることによって子供から高齢者まで使いやすくなる →将来性がある

課題

- 駐車場→市民センターの駐車場を使う
- セキュリティ→身分証・ゲートなど
- 子供が歩いていない
→カフェ（スタバ）・ゲーセン
- 学習室の不足→街の空き店舗・教室を活用
- 駅の椅子→もう少し…

その他の意見

- 学校で公共施設の機能を代替できるのではないかと考えた。
- 図書館に入っている機能を小中学校に分配していくことで、南部図書館はいらないのではないかという方向性になった。
- 本を読む文化が無くなっていくという指摘については、本のある場所に学生を集めるという発想ではなく、本を学生のいる場所（学校）に集めるという発想で本を読む文化の継承はできる。
- 篠ノ井こども広場と中央保育園を、南部図書館の跡地に作れば、もっと余裕のある広さで整備できる

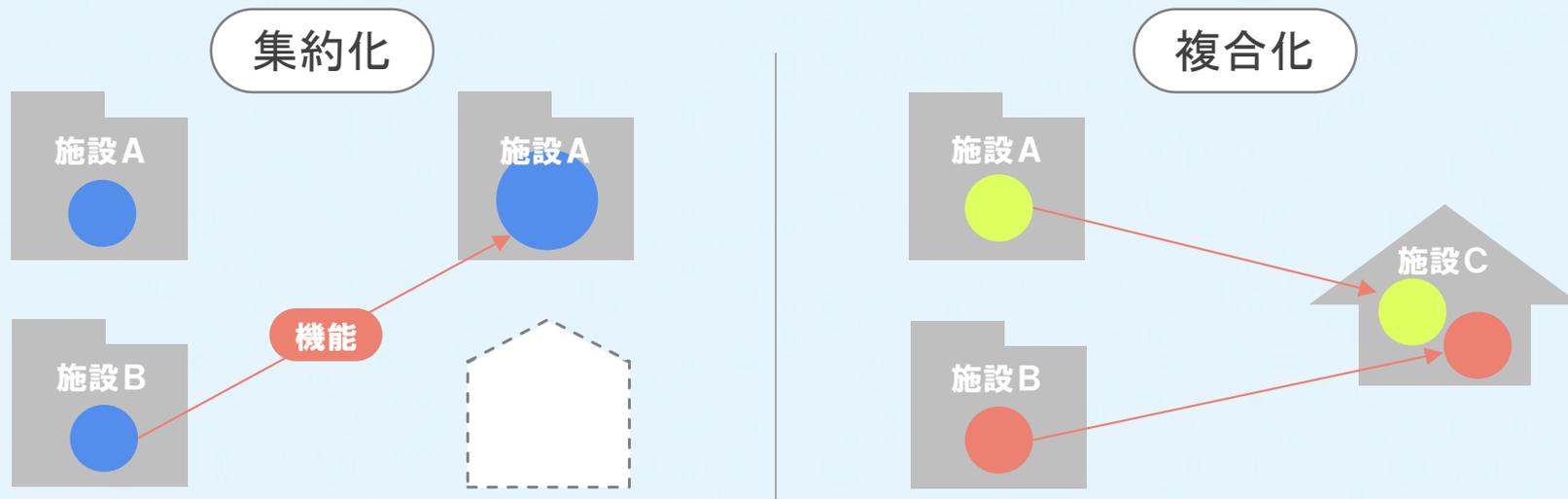
第4回WSテーマ

将来の篠ノ井地区の 公共施設のあり方をまとめる

検討のポイント①

集約化・複合化を考える

おさらい



複合化・集約化すると、いろいろなメリットが...

「人が集まることによる活性化」「移動時間短縮」

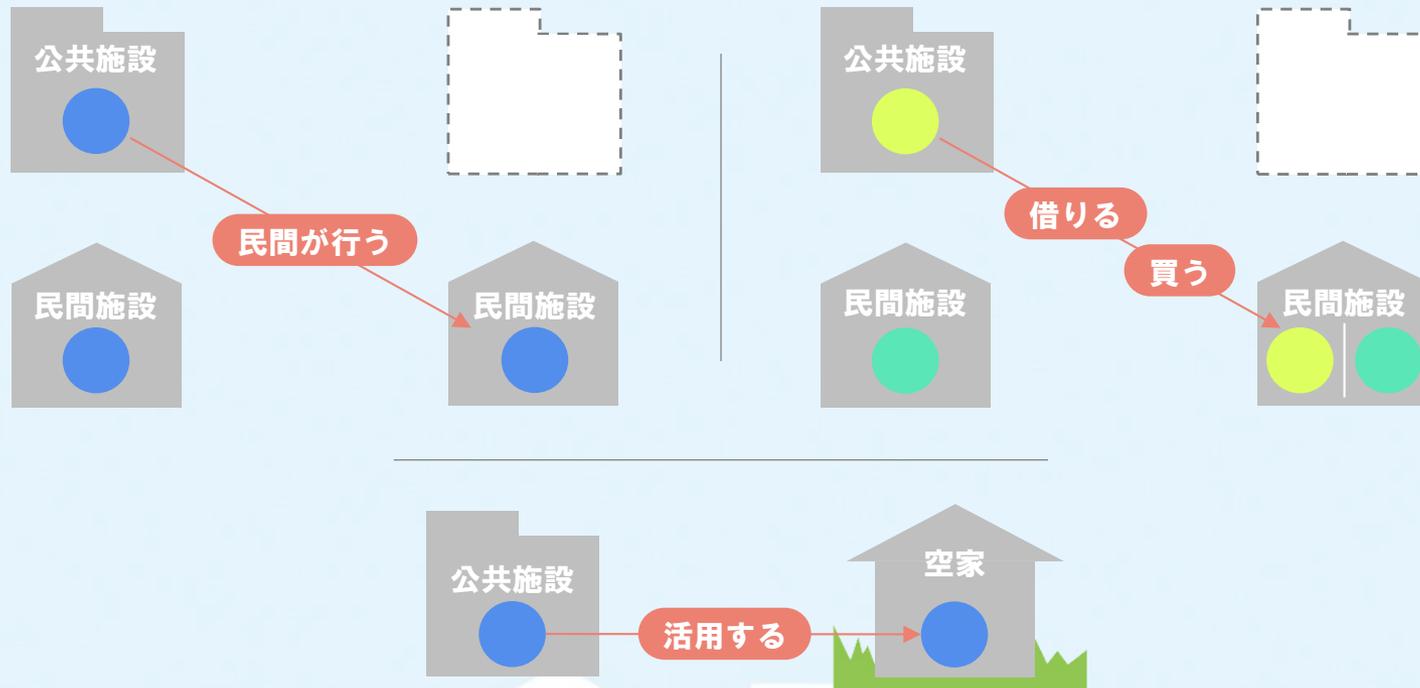
「多世代交流」「人員配置の効率化」

「共用部分の削減（エントランス、廊下、トイレ）」 などなど

検討のポイント②

おさらい

公共施設以外の活用を考える

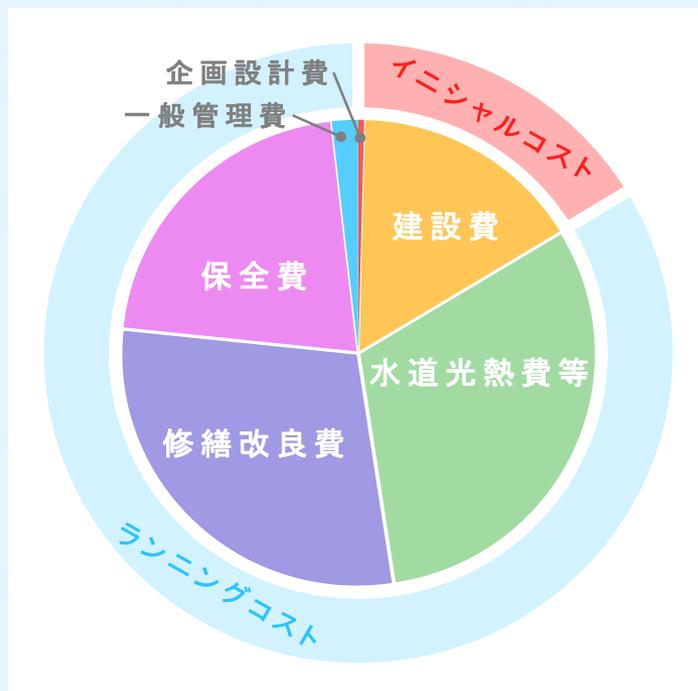


- 民間で提供できる機能（サービス）は民間におねがいし、行政はスリムに。
- 民間に使える施設があれば、積極的に活用する。

検討のポイント③

おさらい

将来まで残す施設を考える



建物を将来まで維持するコストは、
(ランニングコスト)
建物を建てる際のコストの、
(イニシャルコスト)
5～6倍といわれています。

将来まで残す施設のコストは、将来の市民が負担します。
→将来まで残していく施設はどれですか？

将来の篠ノ井地区の公共施設のあり方 作成の進め方

おさらい

STEP 1 ・ STEP 2

- 「できること」「したいこと」を付箋に書いて図に貼り付ける。
- 「取り上げたい施設」を中心にどこに施設の機能を集約化するか、どの施設を複合化させるか、公共施設以外の活用、を検討する。

※ 「できること」「したいこと」がどの施設に集められるかを考える。

※ 集約化などした際に、なにか課題がある場合は、その解決策も考える。

※ どの施設の機能を集約化（複合化）させたかを矢印で示す。

STEP 3

「取り上げたい施設」以外の施設を将来どうするかを考える。

（そのまま残す、使い方を変える、民営化、売却、地元に譲渡、など）

→ 堤研究室再編計画案を参考に